

2024年7月1日

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] *Staphylococcus lugdunensis* の耐性傾向把握のための多施設共同 後ろ向き研究

[研究の目的]

Staphylococcus lugdunensis (以下、*S. lugdunensis*) と呼ばれる細菌は病原性が高く、血液などの培養検査から検出された場合に重症化しやすいことが知られています。近年、*S. lugdunensis* の薬剤耐性(治療に使用する抗菌薬が効きにくくなること)の増加が懸念されており、当地域での *S. lugdunensis* の薬剤耐性の頻度・推移やその関連した因子について調べ、適切な治療に役立てることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2013年4月1日から2023年3月31日の間に、当施設および共同研究機関で血液、膿汁、皮膚などの組織をはじめとした臨床検体の細菌培養検査で *Staphylococcus lugdunensis* が検出されたことのある方。

○利用する検体・情報

検体：実際の検体は利用しません。

情報：診断名、年齢、性別、既往症、検査結果、*S. lugdunensis* の薬剤感受性試験結果

[外部からの検体・診療情報の提供]

利用する外部施設所持の検体・診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送・電子システムへの入力・直接の手渡しなどの方法で、下記の研究組織より香川大学へ提供されます。

[研究組織]

この研究は、香川大学を主幹機関とする多機関共同研究として実施します。

<研究代表機関及び研究代表者>

香川大学医学部附属病院 感染症教育センター 准教授 横田 恭子

<共同研究機関およびその施設の研究責任者>

香川県立中央病院 消化器・一般外科 部長 田中 則光

香川労災病院 呼吸器外科 部長 吉川 武志

三豊総合病院 内科 主任部長 藤川達也

坂出市立病院 呼吸器内科 部長 中村洋之

高松赤十字病院 感染症内科 医長 坂口拓夢

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

住 所： 香川県木田郡三木町池戸 1750-1

施設名： 香川大学医学部附属病院 感染症教育センター

担当者： 福盛 勇介

電 話： 087-891-2449 FAX： 087-891-2254